

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 27日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県裾野市平松85

氏 名 MAアルミニウム株式会社

代表取締役社長 島村 敏行

電話番号 055-992-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	MAアルミニウム株式会社富士製作所
事業場の所在地	静岡県裾野市平松85
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	非鉄金属製造業
② 事業の規模	428億円
③ 従業員数	997名（正社員879名、それ以外の職員118名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙3の通り			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙3の通り			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類別に分別し回収
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も分別を徹底するよう周知及び指導

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	96.4 t	t
	(これまでに実施した取組)		
			—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	100 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
			—

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
(今後実施する予定の取組)			—

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
			—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
			—

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙4の通り	
	全処理委託量	別紙4の通り t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4の通り t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙4の通り t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4の通り t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4の通り t	t
	(これまでに実施した取組)		
			別紙4の通り

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4の通り	
	全処理委託量	別紙4の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙4の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4の通り			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

<当該事業所において現に行っている事業に関する事項>

産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の種類	一連の処理の工程
燃え殻	・製品の表面塗装において塗装材の余剰分を焼却した燃え殻
汚泥	・排水処理施設のフィルタープレスから発生した汚泥 ・煙道、ピット等の清掃汚泥 ・圧延油のろ過材として使用した珪藻土 ・製品のクロメート処理に使用した液を固化したもの ・圧延ロールを研磨して発生したクズ
廃油	・切削、研磨、圧延設備からの廃クーラント（エンジン冷却水ではない） ・上記設備の使用済み油フィルター ・上記設備のメンテナンスで使用したウェス等
廃アルカリ	・アルミニウム製品の表面処理廃液
廃プラスチック類	・アルミニウム製品、原材料納入品等の梱包材
紙くず	・アルミニウムコイルの芯に使用した紙管 ・アルミニウム製品梱包に使用したフェルト緩衝材
木くず	・使用済み木製パレット ・原材料納入品等の梱包材
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	・溶解炉、焼鈍炉等の炉壁に使用したレンガ、断熱材
鋳さい	・アルミニウムドロス（Cドロス）
ばいじん	・ばい煙発生施設から発生したばいじん
安定型混合廃棄物	・設備の部品交換で発生した混合スクラップ等 （溶湯処理装置・廃コンデンサ・事業用小型家電）
管理型混合廃棄物	・梱包容器 ・紙くず、木くずの混合スクラップ
廃乾電池類	・乾電池
（水銀製品）蛍光灯	・蛍光灯

(別紙2)

<産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項>

廃棄物管理体制図



(別紙3)

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

①現状【前年度（令和3年度）実績】

種類	排出量	これまでに実施した取組
燃え殻	1.2 t	－
汚泥(泥状のもの)	851.9 t	DOS汚泥⇒処理方法見直しにより削減 排水汚泥⇒排水処理の適正管理により削減
廃油	410.2 t	HOT廃油⇒有価売却 地下ピットの雨水流入対策
廃酸	1.0 t	－
廃アルカリ	47.4 t	－
廃プラスチック類	105.1 t	－
紙くず	177.6 t	－
木くず	316.6 t	馬台⇒鉄化
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	153.4 t	－
鉱さい	833.4 t	－
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	6.0 t	－
安定型混合廃棄物	267.4 t	－
管理型混合廃棄物	104.9 t	－
乾電池	0.1 t	－
(水銀製品) 蛍光灯	1.0 t	－
合計	3277.3 t	

②計画【令和4年度の目標】

種類	排出量	今後実施する予定の取組
燃え殻	1.2 t	－
汚泥(泥状のもの)	810.0 t	MC汚泥、DOS汚泥⇒事業見直しにより削減
廃油	400.0 t	作動油漏れ対策による削減
廃酸	1.0 t	－
廃アルカリ	47.0 t	－
廃プラスチック類	100.0 t	プラスチック製梱包資材排出の抑制
紙くず	178.0 t	－
木くず	285.0 t	木製梱包資材の鉄・樹脂化
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	153.0 t	－
鉱さい	833.0 t	－
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	6.0 t	－
安定型混合廃棄物	270.0 t	－
管理型混合廃棄物	105.0 t	－
乾電池	0.1 t	－
(水銀製品) 蛍光灯	1.0 t	－
合計	3189.1 t	

(別紙4)

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

①現状【前年度（令和3年度）実績】

種類	全処理委託量	(t)				これまでに実施した取組
		優良認定処理業者への処理委託量	再生利用者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
燃え殻	1.2	0	0	0	0	出来る限り 優良認定業者に委託
汚泥(泥状のもの)	784.9	306.4	697.6	0	0	
廃油	313.8	311.8	313.8	0	0	
廃酸	1.0	1.0	1.0	0	0	
廃アルカリ	47.4	47.4	47.4	0	0	
廃プラスチック類	105.1	39.8	71.4	0	33.8	
紙くず	177.6	6.1	171.5	0	6.1	
木くず	316.6	316.6	316.6	0	0	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	153.4	153.4	153.4	0	0	
鉱さい	833.4	0	823.3	0	0	
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	6.0	6.0	6.0	0	0	
安定型混合廃棄物	267.4	265.0	267.4	0	0	
管理型混合廃棄物	104.9	46.0	104.9	0	0	
乾電池	0.1	0.1	0.1	0	0	
(水銀製品) 蛍光灯	1.0	1.0	1.0	0	0	
合計	3,113.9	1,500.6	2,975.4	0	39.9	

②計画【令和4年度の目標】

種類	全処理委託量	(t)				今後実施する予定の取組
		優良認定処理業者への処理委託量	再生利用者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
燃え殻	1.2	0	0	0	0	出来る限り 優良認定業者に委託
汚泥(泥状のもの)	750.0	306.0	630.0	0	0	
廃油	300.0	300.0	300.0	0	0	
廃酸	1.0	1.0	1.0	0	0	
廃アルカリ	47.0	47.0	47.0	0	0	
廃プラスチック類	100.0	40.0	66.0	0	34.0	
紙くず	178.0	6.0	172.0	0	6.0	
木くず	285.0	285.0	285.0	0	0	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	153.0	153.0	153.0	0	0	
鉱さい	833.0	0	823.0	0	0	
ばいじん(工場の排ガスを処理して得られるばいじん)	6.0	6.0	6.0	0	0	
安定型混合廃棄物	270.0	265.0	270.0	0	0	
管理型混合廃棄物	105.0	50.0	105.0	0	0	
乾電池	0.1	0.1	0.1	0	0	
(水銀製品) 蛍光灯	1.0	1.0	1.0	0	0	
合計	3,030.3	1,460.1	2,859.1	0	40.0	